

| | | | |
|--|--|--|---------------------------|
| 学期 / Semester | 2016年度 / Academic Year 前期 / First Semester | 曜日・校時 / Day・Period | 木 / Thu 4 |
| 開講期間 / Class period | 2016/04/06 ~ 2016/07/26 | | |
| 必修選択 / Required/Elective class | 必修, 選択 / required, elective | 単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas) | 1.0/1.0/1.0 |
| 時間割コード / Time schedule code | 20160581003024 | 科目番号 / Subject code | 05810030 |
| 科目ナンバリングコード / Numbering Code | | | |
| 授業科目名 / Subject | 初年次セミナー(経済) / First-year Seminar | | |
| 編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus | 中西 善信 / Yoshinobu Nakanishi | | |
| 授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject | 中西 善信 / Yoshinobu Nakanishi | | |
| 授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s) | 中西 善信 / Yoshinobu Nakanishi | | |
| 科目分類 / Class type | 教養ゼミナール科目, 統合科目 | | |
| 対象年次 / Year | 1, 2, 3, 4 | 講義形態 / Class Form | 講義, 演習 / Lecture, Seminar |
| 教室 / Class room | 学部間い合わせのこと | | |
| 対象学生(クラス等) / Object Student | | | |
| 担当教員Eメールアドレス / E-mail address | | | |
| 担当教員研究室 / Laboratory | | | |
| 担当教員TEL / Tel | | | |
| 担当教員オフィスアワー / Office hours | | | |
| 授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives | 大学入学以前の教師主導型を主とする学習からの転換を図り, 大学における自主的な学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。そのため, 知的活動への動機づけを高め, 科学的な思考方法と学習・実験のデザイン能力, レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てることを具体的な目標とする。また, 大学での学習の入り口として, 学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り, グループ作りに役立てることも狙いとしている。 | | |
| 授業到達目標 / Goal | 知的活動への動機づけを高める。 科学的な思考方法と学習・実験のデザイン能力を身につける。 レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じて適切な自己表現能力を身につける。 学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り, ものの見方, 考え方の多様性を涵養する。 | | |
| 授業方法(学習指導法) / Method | ・1クラス10~12名程度の学生で構成し, 原則として1名の教員が前期を通じて担当する。 ・ディスカッション, 実地調査など体験的・双方向的学習形態を中心とする。実地調査の組み込み等具体的な実施方法は各クラス担当教員が決める。 | | |
| 授業内容 / Class outline / Con | ・週1コマ, 15週で2単位とする。 ・自主的に学習し, 課題を発見し, 解決するとはどのようなことかを, 討論など体験的・双方向的な学習形態を通して身につける。 ・各教員の指示に従い, 課題についてのグループディスカッション, 全体ディスカッション, グループによるテーマ研究, 成果のプレゼンテーション・質疑応答, レポート作成などに取り組む。 ・図書館資料収集ガイダンス, メディアステーションガイダンス, 情報セキュリティやICT利用に関する授業などが適宜組み込まれる。 | | |
| キーワード / Key word | | | |
| 教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book | 各クラス担当教員の指示による。 | | |
| 成績評価の方法・基準等 / Evaluation | 教養ゼミナールに対する取り組み方・ディスカッション(教養ゼミナールへの積極的な参加, 情報の収集状況・分析など), プレゼンテーション(わかりやすい資料, 話の構成, 説得力など), レポート(構成, 文章表現など)により総合的に評価する。詳細は各クラスの担当教員の指示による。 | | |
| 受講要件(履修条件) / Requirements | | | |
| アクセシビリティ / Accessibility | 長崎大学では, 全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため, 修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては, 担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp | | |
| 備考(URL) / Remarks(URL) | | | |
| 学生へのメッセージ / Message for students | | | |

| | | | |
|--|--|--|---------------------------|
| 学期 / Semester | 2016年度 / Academic Year 前期 / First Semester | 曜日・校時 / Day・Period | 木 / Thu 4 |
| 開講期間 / Class period | 2016/04/06 ~ 2016/07/26 | | |
| 必修選択 / Required/Elective class | 必修, 選択 / required, elective | 単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas) | 1.0/1.0/1.0 |
| 時間割コード / Time schedule code | 20160581003025 | 科目番号 / Subject code | 05810030 |
| 科目ナンバリングコード / Numbering Code | | | |
| 授業科目名 / Subject | 初年次セミナー(経済) / First-year Seminar | | |
| 編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus | 島田 章 / Shimada Akira | | |
| 授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject | 島田 章 / Shimada Akira | | |
| 授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s) | 島田 章 / Shimada Akira | | |
| 科目分類 / Class type | 教養ゼミナール科目, 統合科目 | | |
| 対象年次 / Year | 1, 2, 3, 4 | 講義形態 / Class Form | 講義, 演習 / Lecture, Seminar |
| 教室 / Class room | 学部間い合わせのこと | | |
| 対象学生(クラス等) / Object Student | | | |
| 担当教員Eメールアドレス / E-mail address | | | |
| 担当教員研究室 / Laboratory | | | |
| 担当教員TEL / Tel | | | |
| 担当教員オフィスアワー / Office hours | | | |
| 授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives | 大学入学以前の教師主導型を主とする学習からの転換を図り, 大学における自主的な学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。そのため, 知的活動への動機づけを高め, 科学的な思考方法と学習・実験のデザイン能力, レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てることを具体的な目標とする。また, 大学での学習の入り口として, 学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り, グループ作りに役立てることも狙いとしている。 | | |
| 授業到達目標 / Goal | 知的活動への動機づけを高める。 科学的な思考方法と学習・実験のデザイン能力を身につける。 レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じて適切な自己表現能力を身につける。 学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り, ものの見方, 考え方の多様性を涵養する。 | | |
| 授業方法(学習指導法) / Method | ・1クラス10~12名程度の学生で構成し, 原則として1名の教員が前期を通じて担当する。 ・ディスカッション, 実地調査など体験的・双方向的学習形態を中心とする。実地調査の組み込み等具体的な実施方法は各クラス担当教員が決める。 | | |
| 授業内容 / Class outline / Con | ・週1コマ, 15週で2単位とする。 ・自主的に学習し, 課題を発見し, 解決するとはどのようなことかを, 討論など体験的・双方向的な学習形態を通して身につける。 ・各教員の指示に従い, 課題についてのグループディスカッション, 全体ディスカッション, グループによるテーマ研究, 成果のプレゼンテーション・質疑応答, レポート作成などに取り組む。 ・図書館資料収集ガイダンス, メディアステーションガイダンス, 情報セキュリティやICT利用に関する授業などが適宜組み込まれる。 | | |
| キーワード / Key word | | | |
| 教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book | 各クラス担当教員の指示による。 | | |
| 成績評価の方法・基準等 / Evaluation | 教養ゼミナールに対する取り組み方・ディスカッション(教養ゼミナールへの積極的な参加, 情報の収集状況・分析など), プレゼンテーション(わかりやすい資料, 話の構成, 説得力など), レポート(構成, 文章表現など)により総合的に評価する。詳細は各クラスの担当教員の指示による。 | | |
| 受講要件(履修条件) / Requirements | | | |
| アクセシビリティ / Accessibility | 長崎大学では, 全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため, 修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては, 担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp | | |
| 備考(URL) / Remarks(URL) | | | |
| 学生へのメッセージ / Message for students | | | |

| | | | |
|--|--|--|---------------------------|
| 学期 / Semester | 2016年度 / Academic Year 前期 / First Semester | 曜日・校時 / Day・Period | 木 / Thu 4 |
| 開講期間 / Class period | 2016/04/06 ~ 2016/07/26 | | |
| 必修選択 / Required/Elective class | 必修, 選択 / required, elective | 単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas) | 1.0/1.0/1.0 |
| 時間割コード / Time schedule code | 20160581003026 | 科目番号 / Subject code | 05810030 |
| 科目ナンバリングコード / Numbering Code | | | |
| 授業科目名 / Subject | 初年次セミナー(経済) / First-year Seminar | | |
| 編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus | 土橋 力也 / Rikiya Tsuchihashi | | |
| 授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject | 土橋 力也 / Rikiya Tsuchihashi | | |
| 授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s) | 土橋 力也 / Rikiya Tsuchihashi | | |
| 科目分類 / Class type | 教養ゼミナール科目, 統合科目 | | |
| 対象年次 / Year | 1, 2, 3, 4 | 講義形態 / Class Form | 講義, 演習 / Lecture, Seminar |
| 教室 / Class room | 学部間い合わせのこと | | |
| 対象学生(クラス等) / Object Student | | | |
| 担当教員Eメールアドレス / E-mail address | | | |
| 担当教員研究室 / Laboratory | | | |
| 担当教員TEL / Tel | | | |
| 担当教員オフィスアワー / Office hours | | | |
| 授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives | 大学入学以前の教師主導型を主とする学習からの転換を図り, 大学における自主的な学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。そのため, 知的活動への動機づけを高め, 科学的な思考方法と学習・実験のデザイン能力, レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てることを具体的な目標とする。また, 大学での学習の入り口として, 学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り, グループ作りに役立てることも狙いとしている。 | | |
| 授業到達目標 / Goal | 知的活動への動機づけを高める。 科学的な思考方法と学習・実験のデザイン能力を身につける。 レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じて適切な自己表現能力を身につける。 学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り, ものの見方, 考え方の多様性を涵養する。 | | |
| 授業方法(学習指導法) / Method | ・1クラス10~12名程度の学生で構成し, 原則として1名の教員が前期を通じて担当する。 ・ディスカッション, 実地調査など体験的・双方向的学習形態を中心とする。実地調査の組み込み等具体的な実施方法は各クラス担当教員が決める。 | | |
| 授業内容 / Class outline / Con | ・週1コマ, 15週で2単位とする。 ・自主的に学習し, 課題を発見し, 解決するとはどのようなことかを, 討論など体験的・双方向的な学習形態を通して身につける。 ・各教員の指示に従い, 課題についてのグループディスカッション, 全体ディスカッション, グループによるテーマ研究, 成果のプレゼンテーション・質疑応答, レポート作成などに取り組む。 ・図書館資料収集ガイダンス, メディアステーションガイダンス, 情報セキュリティやICT利用に関する授業などが適宜組み込まれる。 | | |
| キーワード / Key word | | | |
| 教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book | 各クラス担当教員の指示による。 | | |
| 成績評価の方法・基準等 / Evaluation | 教養ゼミナールに対する取り組み方・ディスカッション(教養ゼミナールへの積極的な参加, 情報の収集状況・分析など), プレゼンテーション(わかりやすい資料, 話の構成, 説得力など), レポート(構成, 文章表現など)により総合的に評価する。詳細は各クラスの担当教員の指示による。 | | |
| 受講要件(履修条件) / Requirements | | | |
| アクセシビリティ / Accessibility | 長崎大学では, 全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため, 修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては, 担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp | | |
| 備考(URL) / Remarks(URL) | | | |
| 学生へのメッセージ / Message for students | | | |

| | | | |
|--|--|--|---------------------------|
| 学期 / Semester | 2016年度 / Academic Year 前期 / First Semester | 曜日・校時 / Day・Period | 木 / Thu 4 |
| 開講期間 / Class period | 2016/04/06 ~ 2016/07/26 | | |
| 必修選択 / Required/Elective class | 必修, 選択 / required, elective | 単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas) | 1.0/1.0/1.0 |
| 時間割コード / Time schedule code | 20160581003027 | 科目番号 / Subject code | 05810030 |
| 科目ナンバリングコード / Numbering Code | | | |
| 授業科目名 / Subject | 初年次セミナー(経済) / First-year Seminar | | |
| 編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus | 津留崎 和義 / Turusaki Kazuyoshi | | |
| 授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject | 津留崎 和義 / Turusaki Kazuyoshi | | |
| 授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s) | 津留崎 和義 / Turusaki Kazuyoshi | | |
| 科目分類 / Class type | 教養ゼミナール科目, 統合科目 | | |
| 対象年次 / Year | 1, 2, 3, 4 | 講義形態 / Class Form | 講義, 演習 / Lecture, Seminar |
| 教室 / Class room | 学部間い合わせのこと | | |
| 対象学生(クラス等) / Object Student | | | |
| 担当教員Eメールアドレス / E-mail address | | | |
| 担当教員研究室 / Laboratory | | | |
| 担当教員TEL / Tel | | | |
| 担当教員オフィスアワー / Office hours | | | |
| 授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives | 大学入学以前の教師主導型を主とする学習からの転換を図り, 大学における自主的な学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。そのため, 知的活動への動機づけを高め, 科学的な思考方法と学習・実験のデザイン能力, レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てることを具体的な目標とする。また, 大学での学習の入り口として, 学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り, グループ作りに役立てることも狙いとしている。 | | |
| 授業到達目標 / Goal | 知的活動への動機づけを高める。 科学的な思考方法と学習・実験のデザイン能力を身につける。 レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じて適切な自己表現能力を身につける。 学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り, ものの見方, 考え方の多様性を涵養する。 | | |
| 授業方法(学習指導法) / Method | ・1クラス10~12名程度の学生で構成し, 原則として1名の教員が前期を通じて担当する。 ・ディスカッション, 実地調査など体験的・双方向的学習形態を中心とする。実地調査の組み込み等具体的な実施方法は各クラス担当教員が決める。 | | |
| 授業内容 / Class outline / Con | ・週1コマ, 15週で2単位とする。 ・自主的に学習し, 課題を発見し, 解決するとはどのようなことかを, 討論など体験的・双方向的な学習形態を通して身につける。 ・各教員の指示に従い, 課題についてのグループディスカッション, 全体ディスカッション, グループによるテーマ研究, 成果のプレゼンテーション・質疑応答, レポート作成などに取り組む。 ・図書館資料収集ガイダンス, メディアステーションガイダンス, 情報セキュリティやICT利用に関する授業などが適宜組み込まれる。 | | |
| キーワード / Key word | | | |
| 教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book | 各クラス担当教員の指示による。 | | |
| 成績評価の方法・基準等 / Evaluation | 教養ゼミナールに対する取り組み方・ディスカッション(教養ゼミナールへの積極的な参加, 情報の収集状況・分析など), プレゼンテーション(わかりやすい資料, 話の構成, 説得力など), レポート(構成, 文章表現など)により総合的に評価する。詳細は各クラスの担当教員の指示による。 | | |
| 受講要件(履修条件) / Requirements | | | |
| アクセシビリティ / Accessibility | 長崎大学では, 全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため, 修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては, 担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp | | |
| 備考(URL) / Remarks(URL) | | | |
| 学生へのメッセージ / Message for students | | | |

| | | | |
|--|--|--|---------------------------|
| 学期 / Semester | 2016年度 / Academic Year 前期 / First Semester | 曜日・校時 / Day・Period | 木 / Thu 4 |
| 開講期間 / Class period | 2016/04/06 ~ 2016/07/26 | | |
| 必修選択 / Required/Elective class | 必修, 選択 / required, elective | 単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas) | 1.0/1.0/1.0 |
| 時間割コード / Time schedule code | 20160581003028 | 科目番号 / Subject code | 05810030 |
| 科目ナンバリングコード / Numbering Code | | | |
| 授業科目名 / Subject | 初年次セミナー(経済) / First-year Seminar | | |
| 編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus | 仲井 幹也 / Nakai Mikiya | | |
| 授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject | 仲井 幹也 / Nakai Mikiya | | |
| 授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s) | 仲井 幹也 / Nakai Mikiya | | |
| 科目分類 / Class type | 教養ゼミナール科目, 統合科目 | | |
| 対象年次 / Year | 1, 2, 3, 4 | 講義形態 / Class Form | 講義, 演習 / Lecture, Seminar |
| 教室 / Class room | 学部間い合わせのこと | | |
| 対象学生(クラス等) / Object Student | | | |
| 担当教員Eメールアドレス / E-mail address | | | |
| 担当教員研究室 / Laboratory | | | |
| 担当教員TEL / Tel | | | |
| 担当教員オフィスアワー / Office hours | | | |
| 授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives | 大学入学以前の教師主導型を主とする学習からの転換を図り, 大学における自主的な学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。そのため, 知的活動への動機づけを高め, 科学的な思考方法と学習・実験のデザイン能力, レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てることを具体的な目標とする。また, 大学での学習の入り口として, 学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り, グループ作りに役立てることも狙いとしている。 | | |
| 授業到達目標 / Goal | 知的活動への動機づけを高める。 科学的な思考方法と学習・実験のデザイン能力を身につける。 レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じて適切な自己表現能力を身につける。 学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り, ものの見方, 考え方の多様性を涵養する。 | | |
| 授業方法(学習指導法) / Method | ・1クラス10~12名程度の学生で構成し, 原則として1名の教員が前期を通じて担当する。 ・ディスカッション, 実地調査など体験的・双方向的学習形態を中心とする。実地調査の組み込み等具体的な実施方法は各クラス担当教員が決める。 | | |
| 授業内容 / Class outline / Con | ・週1コマ, 15週で2単位とする。 ・自主的に学習し, 課題を発見し, 解決するとはどのようなことかを, 討論など体験的・双方向的な学習形態を通して身につける。 ・各教員の指示に従い, 課題についてのグループディスカッション, 全体ディスカッション, グループによるテーマ研究, 成果のプレゼンテーション・質疑応答, レポート作成などに取り組む。 ・図書館資料収集ガイダンス, メディアステーションガイダンス, 情報セキュリティやICT利用に関する授業などが適宜組み込まれる。 | | |
| キーワード / Key word | | | |
| 教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book | 各クラス担当教員の指示による。 | | |
| 成績評価の方法・基準等 / Evaluation | 教養ゼミナールに対する取り組み方・ディスカッション(教養ゼミナールへの積極的な参加, 情報の収集状況・分析など), プレゼンテーション(わかりやすい資料, 話の構成, 説得力など), レポート(構成, 文章表現など)により総合的に評価する。詳細は各クラスの担当教員の指示による。 | | |
| 受講要件(履修条件) / Requirements | | | |
| アクセシビリティ / Accessibility | 長崎大学では, 全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため, 修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては, 担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp | | |
| 備考(URL) / Remarks(URL) | | | |
| 学生へのメッセージ / Message for students | | | |

| | | | |
|--|--|--|---------------------------|
| 学期 / Semester | 2016年度 / Academic Year 前期 / First Semester | 曜日・校時 / Day・Period | 木 / Thu 4 |
| 開講期間 / Class period | 2016/04/06 ~ 2016/07/26 | | |
| 必修選択 / Required/Elective class | 必修, 選択 / required, elective | 単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas) | 1.0/1.0/1.0 |
| 時間割コード / Time schedule code | 20160581003029 | 科目番号 / Subject code | 05810030 |
| 科目ナンバリングコード / Numbering Code | | | |
| 授業科目名 / Subject | 初年次セミナー(経済) / First-year Seminar | | |
| 編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus | 西村 宣彦 / Nobuhiko Nishimura | | |
| 授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject | 西村 宣彦 / Nobuhiko Nishimura | | |
| 授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s) | 西村 宣彦 / Nobuhiko Nishimura | | |
| 科目分類 / Class type | 教養ゼミナール科目, 統合科目 | | |
| 対象年次 / Year | 1, 2, 3, 4 | 講義形態 / Class Form | 講義, 演習 / Lecture, Seminar |
| 教室 / Class room | 学部間い合わせのこと | | |
| 対象学生(クラス等) / Object Student | | | |
| 担当教員Eメールアドレス / E-mail address | | | |
| 担当教員研究室 / Laboratory | | | |
| 担当教員TEL / Tel | | | |
| 担当教員オフィスアワー / Office hours | | | |
| 授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives | 大学入学以前の教師主導型を主とする学習からの転換を図り, 大学における自主的な学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。そのため, 知的活動への動機づけを高め, 科学的な思考方法と学習・実験のデザイン能力, レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てることを具体的な目標とする。また, 大学での学習の入り口として, 学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り, グループ作りに役立てることも狙いとしている。 | | |
| 授業到達目標 / Goal | 知的活動への動機づけを高める。 科学的な思考方法と学習・実験のデザイン能力を身につける。 レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じて適切な自己表現能力を身につける。 学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り, ものの見方, 考え方の多様性を涵養する。 | | |
| 授業方法(学習指導法) / Method | ・1クラス10~12名程度の学生で構成し, 原則として1名の教員が前期を通じて担当する。 ・ディスカッション, 実地調査など体験的・双方向的学習形態を中心とする。実地調査の組み込み等具体的な実施方法は各クラス担当教員が決める。 | | |
| 授業内容 / Class outline / Con | ・週1コマ, 15週で2単位とする。 ・自主的に学習し, 課題を発見し, 解決するとはどのようなことかを, 討論など体験的・双方向的な学習形態を通して身につける。 ・各教員の指示に従い, 課題についてのグループディスカッション, 全体ディスカッション, グループによるテーマ研究, 成果のプレゼンテーション・質疑応答, レポート作成などに取り組む。 ・図書館資料収集ガイダンス, メディアステーションガイダンス, 情報セキュリティやICT利用に関する授業などが適宜組み込まれる。 | | |
| キーワード / Key word | | | |
| 教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book | 各クラス担当教員の指示による。 | | |
| 成績評価の方法・基準等 / Evaluation | 教養ゼミナールに対する取り組み方・ディスカッション(教養ゼミナールへの積極的な参加, 情報の収集状況・分析など), プレゼンテーション(わかりやすい資料, 話の構成, 説得力など), レポート(構成, 文章表現など)により総合的に評価する。詳細は各クラスの担当教員の指示による。 | | |
| 受講要件(履修条件) / Requirements | | | |
| アクセシビリティ / Accessibility | 長崎大学では, 全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため, 修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては, 担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp | | |
| 備考(URL) / Remarks(URL) | | | |
| 学生へのメッセージ / Message for students | | | |

| | | | |
|--|--|--|---------------------------|
| 学期 / Semester | 2016年度 / Academic Year 前期 / First Semester | 曜日・校時 / Day・Period | 木 / Thu 4 |
| 開講期間 / Class period | 2016/04/06 ~ 2016/07/26 | | |
| 必修選択 / Required/Elective class | 必修, 選択 / required, elective | 単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas) | 1.0/1.0/1.0 |
| 時間割コード / Time schedule code | 20160581003030 | 科目番号 / Subject code | 05810030 |
| 科目ナンバリングコード / Numbering Code | | | |
| 授業科目名 / Subject | 初年次セミナー(経済) / First-year Seminar | | |
| 編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus | 林 徹 / Hayashi Toru | | |
| 授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject | 林 徹 / Hayashi Toru | | |
| 授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s) | 林 徹 / Hayashi Toru | | |
| 科目分類 / Class type | 教養ゼミナール科目, 統合科目 | | |
| 対象年次 / Year | 1, 2, 3, 4 | 講義形態 / Class Form | 講義, 演習 / Lecture, Seminar |
| 教室 / Class room | 学部間い合わせのこと | | |
| 対象学生(クラス等) / Object Student | | | |
| 担当教員Eメールアドレス / E-mail address | | | |
| 担当教員研究室 / Laboratory | | | |
| 担当教員TEL / Tel | | | |
| 担当教員オフィスアワー / Office hours | | | |
| 授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives | 大学入学以前の教師主導型を主とする学習からの転換を図り, 大学における自主的な学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。そのため, 知的活動への動機づけを高め, 科学的な思考方法と学習・実験のデザイン能力, レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てることを具体的な目標とする。また, 大学での学習の入り口として, 学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り, グループ作りに役立てることも狙いとしている。 | | |
| 授業到達目標 / Goal | 知的活動への動機づけを高める。 科学的な思考方法と学習・実験のデザイン能力を身につける。 レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じて適切な自己表現能力を身につける。 学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り, ものの見方, 考え方の多様性を涵養する。 | | |
| 授業方法(学習指導法) / Method | ・1クラス10~12名程度の学生で構成し, 原則として1名の教員が前期を通じて担当する。 ・ディスカッション, 実地調査など体験的・双方向的学習形態を中心とする。実地調査の組み込み等具体的な実施方法は各クラス担当教員が決める。 | | |
| 授業内容 / Class outline / Con | ・週1コマ, 15週で2単位とする。 ・自主的に学習し, 課題を発見し, 解決するとはどのようなことかを, 討論など体験的・双方向的な学習形態を通して身につける。 ・各教員の指示に従い, 課題についてのグループディスカッション, 全体ディスカッション, グループによるテーマ研究, 成果のプレゼンテーション・質疑応答, レポート作成などに取り組む。 ・図書館資料収集ガイダンス, メディアステーションガイダンス, 情報セキュリティやICT利用に関する授業などが適宜組み込まれる。 | | |
| キーワード / Key word | | | |
| 教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book | 各クラス担当教員の指示による。 | | |
| 成績評価の方法・基準等 / Evaluation | 教養ゼミナールに対する取り組み方・ディスカッション(教養ゼミナールへの積極的な参加, 情報の収集状況・分析など), プレゼンテーション(わかりやすい資料, 話の構成, 説得力など), レポート(構成, 文章表現など)により総合的に評価する。詳細は各クラスの担当教員の指示による。 | | |
| 受講要件(履修条件) / Requirements | | | |
| アクセシビリティ / Accessibility | 長崎大学では, 全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため, 修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては, 担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp | | |
| 備考(URL) / Remarks(URL) | | | |
| 学生へのメッセージ / Message for students | | | |

| | | | |
|--|--|--|---------------------------|
| 学期 / Semester | 2016年度 / Academic Year 前期 / First Semester | 曜日・校時 / Day・Period | 木 / Thu 4 |
| 開講期間 / Class period | 2016/04/06 ~ 2016/07/26 | | |
| 必修選択 / Required/Elective class | 必修, 選択 / required, elective | 単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas) | 1.0/1.0/1.0 |
| 時間割コード / Time schedule code | 20160581003031 | 科目番号 / Subject code | 05810030 |
| 科目ナンバリングコード / Numbering Code | | | |
| 授業科目名 / Subject | 初年次セミナー(経済) / First-year Seminar | | |
| 編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus | 林川 万理水 / Hayashikawa Marina | | |
| 授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject | 林川 万理水 / Hayashikawa Marina | | |
| 授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s) | 林川 万理水 / Hayashikawa Marina | | |
| 科目分類 / Class type | 教養ゼミナール科目, 統合科目 | | |
| 対象年次 / Year | 1, 2, 3, 4 | 講義形態 / Class Form | 講義, 演習 / Lecture, Seminar |
| 教室 / Class room | 学部間い合わせのこと | | |
| 対象学生(クラス等) / Object Student | | | |
| 担当教員Eメールアドレス / E-mail address | | | |
| 担当教員研究室 / Laboratory | | | |
| 担当教員TEL / Tel | | | |
| 担当教員オフィスアワー / Office hours | | | |
| 授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives | 大学入学以前の教師主導型を主とする学習からの転換を図り, 大学における自主的な学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。そのため, 知的活動への動機づけを高め, 科学的な思考方法と学習・実験のデザイン能力, レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てることを具体的な目標とする。また, 大学での学習の入り口として, 学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り, グループ作りに役立てることも狙いとしている。 | | |
| 授業到達目標 / Goal | 知的活動への動機づけを高める。 科学的な思考方法と学習・実験のデザイン能力を身につける。 レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じて適切な自己表現能力を身につける。 学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り, ものの見方, 考え方の多様性を涵養する。 | | |
| 授業方法(学習指導法) / Method | ・1クラス10~12名程度の学生で構成し, 原則として1名の教員が前期を通じて担当する。 ・ディスカッション, 実地調査など体験的・双方向的学習形態を中心とする。実地調査の組み込み等具体的な実施方法は各クラス担当教員が決める。 | | |
| 授業内容 / Class outline / Con | ・週1コマ, 15週で2単位とする。 ・自主的に学習し, 課題を発見し, 解決するとはどのようなことかを, 討論など体験的・双方向的な学習形態を通して身につける。 ・各教員の指示に従い, 課題についてのグループディスカッション, 全体ディスカッション, グループによるテーマ研究, 成果のプレゼンテーション・質疑応答, レポート作成などに取り組む。 ・図書館資料収集ガイダンス, メディアステーションガイダンス, 情報セキュリティやICT利用に関する授業などが適宜組み込まれる。 | | |
| キーワード / Key word | | | |
| 教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book | 各クラス担当教員の指示による。 | | |
| 成績評価の方法・基準等 / Evaluation | 教養ゼミナールに対する取り組み方・ディスカッション(教養ゼミナールへの積極的な参加, 情報の収集状況・分析など), プレゼンテーション(わかりやすい資料, 話の構成, 説得力など), レポート(構成, 文章表現など)により総合的に評価する。詳細は各クラスの担当教員の指示による。 | | |
| 受講要件(履修条件) / Requirements | | | |
| アクセシビリティ / Accessibility | 長崎大学では, 全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため, 修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては, 担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp | | |
| 備考(URL) / Remarks(URL) | | | |
| 学生へのメッセージ / Message for students | | | |

| | | | |
|--|--|--|---------------------------|
| 学期 / Semester | 2016年度 / Academic Year 前期 / First Semester | 曜日・校時 / Day・Period | 木 / Thu 4 |
| 開講期間 / Class period | 2016/04/06 ~ 2016/07/26 | | |
| 必修選択 / Required/Elective class | 必修, 選択 / required, elective | 単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas) | 1.0/1.0/1.0 |
| 時間割コード / Time schedule code | 20160581003032 | 科目番号 / Subject code | 05810030 |
| 科目ナンバリングコード / Numbering Code | | | |
| 授業科目名 / Subject | 初年次セミナー(経済) / First-year Seminar | | |
| 編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus | 丸山 幸宏 / Maruyama Yukihiro | | |
| 授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject | 丸山 幸宏 / Maruyama Yukihiro | | |
| 授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s) | 丸山 幸宏 / Maruyama Yukihiro | | |
| 科目分類 / Class type | 教養ゼミナール科目, 統合科目 | | |
| 対象年次 / Year | 1, 2, 3, 4 | 講義形態 / Class Form | 講義, 演習 / Lecture, Seminar |
| 教室 / Class room | 学部間い合わせのこと | | |
| 対象学生(クラス等) / Object Student | | | |
| 担当教員Eメールアドレス / E-mail address | | | |
| 担当教員研究室 / Laboratory | | | |
| 担当教員TEL / Tel | | | |
| 担当教員オフィスアワー / Office hours | | | |
| 授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives | 大学入学以前の教師主導型を主とする学習からの転換を図り, 大学における自主的な学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。そのため, 知的活動への動機づけを高め, 科学的な思考方法と学習・実験のデザイン能力, レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てることを具体的な目標とする。また, 大学での学習の入り口として, 学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り, グループ作りに役立てることも狙いとしている。 | | |
| 授業到達目標 / Goal | 知的活動への動機づけを高める。 科学的な思考方法と学習・実験のデザイン能力を身につける。 レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じて適切な自己表現能力を身につける。 学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り, ものの見方, 考え方の多様性を涵養する。 | | |
| 授業方法(学習指導法) / Method | ・1クラス10~12名程度の学生で構成し, 原則として1名の教員が前期を通じて担当する。 ・ディスカッション, 実地調査など体験的・双方向的学習形態を中心とする。実地調査の組み込み等具体的な実施方法は各クラス担当教員が決める。 | | |
| 授業内容 / Class outline / Con | ・週1コマ, 15週で2単位とする。 ・自主的に学習し, 課題を発見し, 解決するとはどのようなことかを, 討論など体験的・双方向的な学習形態を通して身につける。 ・各教員の指示に従い, 課題についてのグループディスカッション, 全体ディスカッション, グループによるテーマ研究, 成果のプレゼンテーション・質疑応答, レポート作成などに取り組む。 ・図書館資料収集ガイダンス, メディアステーションガイダンス, 情報セキュリティやICT利用に関する授業などが適宜組み込まれる。 | | |
| キーワード / Key word | | | |
| 教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book | 各クラス担当教員の指示による。 | | |
| 成績評価の方法・基準等 / Evaluation | 教養ゼミナールに対する取り組み方・ディスカッション(教養ゼミナールへの積極的な参加, 情報の収集状況・分析など), プレゼンテーション(わかりやすい資料, 話の構成, 説得力など), レポート(構成, 文章表現など)により総合的に評価する。詳細は各クラスの担当教員の指示による。 | | |
| 受講要件(履修条件) / Requirements | | | |
| アクセシビリティ / Accessibility | 長崎大学では, 全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため, 修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては, 担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp | | |
| 備考(URL) / Remarks(URL) | | | |
| 学生へのメッセージ / Message for students | | | |

| | | | |
|--|--|--|---------------------------|
| 学期 / Semester | 2016年度 / Academic Year 前期 / First Semester | 曜日・校時 / Day・Period | 木 / Thu 4 |
| 開講期間 / Class period | 2016/04/06 ~ 2016/07/26 | | |
| 必修選択 / Required/Elective class | 必修, 選択 / required, elective | 単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas) | 1.0/1.0/1.0 |
| 時間割コード / Time schedule code | 20160581003033 | 科目番号 / Subject code | 05810030 |
| 科目ナンバリングコード / Numbering Code | | | |
| 授業科目名 / Subject | 初年次セミナー(経済) / First-year Seminar | | |
| 編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus | 森保 洋 / Moriyasu Hiroshi | | |
| 授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject | 森保 洋 / Moriyasu Hiroshi | | |
| 授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s) | 森保 洋 / Moriyasu Hiroshi | | |
| 科目分類 / Class type | 教養ゼミナール科目, 統合科目 | | |
| 対象年次 / Year | 1, 2, 3, 4 | 講義形態 / Class Form | 講義, 演習 / Lecture, Seminar |
| 教室 / Class room | 学部間い合わせのこと | | |
| 対象学生(クラス等) / Object Student | | | |
| 担当教員Eメールアドレス / E-mail address | | | |
| 担当教員研究室 / Laboratory | | | |
| 担当教員TEL / Tel | | | |
| 担当教員オフィスアワー / Office hours | | | |
| 授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives | 大学入学以前の教師主導型を主とする学習からの転換を図り, 大学における自主的な学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。そのため, 知的活動への動機づけを高め, 科学的な思考方法と学習・実験のデザイン能力, レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てることを具体的な目標とする。また, 大学での学習の入り口として, 学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り, グループ作りに役立てることも狙いとしている。 | | |
| 授業到達目標 / Goal | 知的活動への動機づけを高める。 科学的な思考方法と学習・実験のデザイン能力を身につける。 レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じて適切な自己表現能力を身につける。 学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り, ものの見方, 考え方の多様性を涵養する。 | | |
| 授業方法(学習指導法) / Method | ・1クラス10~12名程度の学生で構成し, 原則として1名の教員が前期を通じて担当する。 ・ディスカッション, 実地調査など体験的・双方向的学習形態を中心とする。実地調査の組み込み等具体的な実施方法は各クラス担当教員が決める。 | | |
| 授業内容 / Class outline / Con | ・週1コマ, 15週で2単位とする。 ・自主的に学習し, 課題を発見し, 解決するとはどのようなことかを, 討論など体験的・双方向的な学習形態を通して身につける。 ・各教員の指示に従い, 課題についてのグループディスカッション, 全体ディスカッション, グループによるテーマ研究, 成果のプレゼンテーション・質疑応答, レポート作成などに取り組む。 ・図書館資料収集ガイダンス, メディアステーションガイダンス, 情報セキュリティやICT利用に関する授業などが適宜組み込まれる。 | | |
| キーワード / Key word | | | |
| 教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book | 各クラス担当教員の指示による。 | | |
| 成績評価の方法・基準等 / Evaluation | 教養ゼミナールに対する取り組み方・ディスカッション(教養ゼミナールへの積極的な参加, 情報の収集状況・分析など), プレゼンテーション(わかりやすい資料, 話の構成, 説得力など), レポート(構成, 文章表現など)により総合的に評価する。詳細は各クラスの担当教員の指示による。 | | |
| 受講要件(履修条件) / Requirements | | | |
| アクセシビリティ / Accessibility | 長崎大学では, 全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため, 修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては, 担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp | | |
| 備考(URL) / Remarks(URL) | | | |
| 学生へのメッセージ / Message for students | | | |

| | | | |
|--|--|--|---------------------------|
| 学期 / Semester | 2016年度 / Academic Year 前期 / First Semester | 曜日・校時 / Day・Period | 木 / Thu 4 |
| 開講期間 / Class period | 2016/04/06 ~ 2016/07/26 | | |
| 必修選択 / Required/Elective class | 必修, 選択 / required, elective | 単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas) | 1.0/1.0/1.0 |
| 時間割コード / Time schedule code | 20160581003034 | 科目番号 / Subject code | 05810030 |
| 科目ナンバリングコード / Numbering Code | | | |
| 授業科目名 / Subject | 初年次セミナー(経済) / First-year Seminar | | |
| 編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus | 山口 純哉 / Yamaguchi Junya | | |
| 授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject | 山口 純哉 / Yamaguchi Junya | | |
| 授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s) | 山口 純哉 / Yamaguchi Junya | | |
| 科目分類 / Class type | 教養ゼミナール科目, 統合科目 | | |
| 対象年次 / Year | 1, 2, 3, 4 | 講義形態 / Class Form | 講義, 演習 / Lecture, Seminar |
| 教室 / Class room | 学部間い合わせのこと | | |
| 対象学生(クラス等) / Object Student | | | |
| 担当教員Eメールアドレス / E-mail address | | | |
| 担当教員研究室 / Laboratory | | | |
| 担当教員TEL / Tel | | | |
| 担当教員オフィスアワー / Office hours | | | |
| 授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives | 大学入学以前の教師主導型を主とする学習からの転換を図り, 大学における自主的な学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。そのため, 知的活動への動機づけを高め, 科学的な思考方法と学習・実験のデザイン能力, レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てることを具体的な目標とする。また, 大学での学習の入り口として, 学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り, グループ作りに役立てることも狙いとしている。 | | |
| 授業到達目標 / Goal | 知的活動への動機づけを高める。 科学的な思考方法と学習・実験のデザイン能力を身につける。 レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じて適切な自己表現能力を身につける。 学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り, ものの見方, 考え方の多様性を涵養する。 | | |
| 授業方法(学習指導法) / Method | ・1クラス10~12名程度の学生で構成し, 原則として1名の教員が前期を通じて担当する。 ・ディスカッション, 実地調査など体験的・双方向的学習形態を中心とする。実地調査の組み込み等具体的な実施方法は各クラス担当教員が決める。 | | |
| 授業内容 / Class outline / Con | ・週1コマ, 15週で2単位とする。 ・自主的に学習し, 課題を発見し, 解決するとはどのようなことかを, 討論など体験的・双方向的な学習形態を通して身につける。 ・各教員の指示に従い, 課題についてのグループディスカッション, 全体ディスカッション, グループによるテーマ研究, 成果のプレゼンテーション・質疑応答, レポート作成などに取り組む。 ・図書館資料収集ガイダンス, メディアステーションガイダンス, 情報セキュリティやICT利用に関する授業などが適宜組み込まれる。 | | |
| キーワード / Key word | | | |
| 教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book | 各クラス担当教員の指示による。 | | |
| 成績評価の方法・基準等 / Evaluation | 教養ゼミナールに対する取り組み方・ディスカッション(教養ゼミナールへの積極的な参加, 情報の収集状況・分析など), プレゼンテーション(わかりやすい資料, 話の構成, 説得力など), レポート(構成, 文章表現など)により総合的に評価する。詳細は各クラスの担当教員の指示による。 | | |
| 受講要件(履修条件) / Requirements | | | |
| アクセシビリティ / Accessibility | 長崎大学では, 全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため, 修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては, 担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp | | |
| 備考(URL) / Remarks(URL) | | | |
| 学生へのメッセージ / Message for students | | | |

| | | | |
|--|--|--|---------------------------|
| 学期 / Semester | 2016年度 / Academic Year 前期 / First Semester | 曜日・校時 / Day・Period | 木 / Thu 4 |
| 開講期間 / Class period | 2016/04/06 ~ 2016/07/26 | | |
| 必修選択 / Required/Elective class | 必修, 選択 / required, elective | 単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas) | 1.0/1.0/1.0 |
| 時間割コード / Time schedule code | 20160581003035 | 科目番号 / Subject code | 05810030 |
| 科目ナンバリングコード / Numbering Code | | | |
| 授業科目名 / Subject | 初年次セミナー(経済) / First-year Seminar | | |
| 編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus | 山田 和郎 / Kazuo Yamada | | |
| 授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject | 山田 和郎 / Kazuo Yamada | | |
| 授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s) | 山田 和郎 / Kazuo Yamada | | |
| 科目分類 / Class type | 教養ゼミナール科目, 統合科目 | | |
| 対象年次 / Year | 1, 2, 3, 4 | 講義形態 / Class Form | 講義, 演習 / Lecture, Seminar |
| 教室 / Class room | 学部間い合わせのこと | | |
| 対象学生(クラス等) / Object Student | | | |
| 担当教員Eメールアドレス / E-mail address | k-yamada@nagasaki-u.ac.jp | | |
| 担当教員研究室 / Laboratory | | | |
| 担当教員TEL / Tel | | | |
| 担当教員オフィスアワー / Office hours | | | |
| 授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives | 大学入学以前の教師主導型を主とする学習からの転換を図り, 大学における自主的な学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。そのため, 知的活動への動機づけを高め, 科学的な思考方法と学習・実験のデザイン能力, レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てることを具体的な目標とする。また, 大学での学習の入り口として, 学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り, グループ作りに役立てることも狙いとしている。 | | |
| 授業到達目標 / Goal | 知的活動への動機づけを高める。 科学的な思考方法と学習・実験のデザイン能力を身につける。 レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じて適切な自己表現能力を身につける。 学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り, ものの見方, 考え方の多様性を涵養する。 | | |
| 授業方法(学習指導法) / Method | ・1クラス10~12名程度の学生で構成し, 原則として1名の教員が前期を通じて担当する。 ・ディスカッション, 実地調査など体験的・双方向的学習形態を中心とする。実地調査の組み込み等具体的な実施方法は各クラス担当教員が決める。 | | |
| 授業内容 / Class outline / Con | ・週1コマ, 15週で2単位とする。 ・自主的に学習し, 課題を発見し, 解決するとはどのようなことかを, 討論など体験的・双方向的な学習形態を通して身につける。 ・各教員の指示に従い, 課題についてのグループディスカッション, 全体ディスカッション, グループによるテーマ研究, 成果のプレゼンテーション・質疑応答, レポート作成などに取り組む。 ・図書館資料収集ガイダンス, メディアステーションガイダンス, 情報セキュリティやICT利用に関する授業などが適宜組み込まれる。 | | |
| キーワード / Key word | | | |
| 教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book | 各クラス担当教員の指示による。 | | |
| 成績評価の方法・基準等 / Evaluation | 教養ゼミナールに対する取り組み方・ディスカッション(教養ゼミナールへの積極的な参加, 情報の収集状況・分析など), プレゼンテーション(わかりやすい資料, 話の構成, 説得力など), レポート(構成, 文章表現など)により総合的に評価する。詳細は各クラスの担当教員の指示による。 | | |
| 受講要件(履修条件) / Requirements | | | |
| アクセシビリティ / Accessibility | 長崎大学では, 全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため, 修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては, 担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp | | |
| 備考(URL) / Remarks(URL) | | | |
| 学生へのメッセージ / Message for students | | | |

| | | | |
|--|--|--|---------------------------|
| 学期 / Semester | 2016年度 / Academic Year 前期 / First Semester | 曜日・校時 / Day・Period | 金 / Fri 4 |
| 開講期間 / Class period | 2016/04/06 ~ 2016/07/26 | | |
| 必修選択 / Required/Elective class | 必修, 選択 / required, elective | 単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas) | 1.0/1.0/1.0 |
| 時間割コード / Time schedule code | 20160581003036 | 科目番号 / Subject code | 05810030 |
| 科目ナンバリングコード / Numbering Code | | | |
| 授業科目名 / Subject | 初年次セミナー(経済) / First-year Seminar | | |
| 編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus | 井田 洋子 / Ida Youko | | |
| 授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject | 井田 洋子 / Ida Youko | | |
| 授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s) | 井田 洋子 / Ida Youko | | |
| 科目分類 / Class type | 教養ゼミナール科目, 統合科目 | | |
| 対象年次 / Year | 1, 2, 3, 4 | 講義形態 / Class Form | 講義, 演習 / Lecture, Seminar |
| 教室 / Class room | 学部間い合わせのこと | | |
| 対象学生(クラス等) / Object Student | | | |
| 担当教員Eメールアドレス / E-mail address | | | |
| 担当教員研究室 / Laboratory | | | |
| 担当教員TEL / Tel | | | |
| 担当教員オフィスアワー / Office hours | | | |
| 授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives | 大学入学以前の教師主導型を主とする学習からの転換を図り, 大学における自主的な学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。そのため, 知的活動への動機づけを高め, 科学的な思考方法と学習・実験のデザイン能力, レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てることを具体的な目標とする。また, 大学での学習の入り口として, 学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り, グループ作りに役立てることも狙いとしている。 | | |
| 授業到達目標 / Goal | 知的活動への動機づけを高める。 科学的な思考方法と学習・実験のデザイン能力を身につける。 レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じて適切な自己表現能力を身につける。 学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り, ものの見方, 考え方の多様性を涵養する。 | | |
| 授業方法(学習指導法) / Method | ・1クラス10~12名程度の学生で構成し, 原則として1名の教員が前期を通じて担当する。 ・ディスカッション, 実地調査など体験的・双方向的学習形態を中心とする。実地調査の組み込み等具体的な実施方法は各クラス担当教員が決める。 | | |
| 授業内容 / Class outline / Con | ・週1コマ, 15週で2単位とする。 ・自主的に学習し, 課題を発見し, 解決するとはどのようなことかを, 討論など体験的・双方向的な学習形態を通して身につける。 ・各教員の指示に従い, 課題についてのグループディスカッション, 全体ディスカッション, グループによるテーマ研究, 成果のプレゼンテーション・質疑応答, レポート作成などに取り組む。 ・図書館資料収集ガイダンス, メディアステーションガイダンス, 情報セキュリティやICT利用に関する授業などが適宜組み込まれる。 | | |
| キーワード / Key word | | | |
| 教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book | 各クラス担当教員の指示による。 | | |
| 成績評価の方法・基準等 / Evaluation | 教養ゼミナールに対する取り組み方・ディスカッション(教養ゼミナールへの積極的な参加, 情報の収集状況・分析など), プレゼンテーション(わかりやすい資料, 話の構成, 説得力など), レポート(構成, 文章表現など)により総合的に評価する。詳細は各クラスの担当教員の指示による。 | | |
| 受講要件(履修条件) / Requirements | | | |
| アクセシビリティ / Accessibility | 長崎大学では, 全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため, 修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては, 担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp | | |
| 備考(URL) / Remarks(URL) | | | |
| 学生へのメッセージ / Message for students | | | |

| | | | |
|--|--|--|---------------------------|
| 学期 / Semester | 2016年度 / Academic Year 前期 / First Semester | 曜日・校時 / Day・Period | 金 / Fri 4 |
| 開講期間 / Class period | 2016/04/06 ~ 2016/07/26 | | |
| 必修選択 / Required/Elective class | 必修, 選択 / required, elective | 単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas) | 1.0/1.0/1.0 |
| 時間割コード / Time schedule code | 20160581003037 | 科目番号 / Subject code | 05810030 |
| 科目ナンバリングコード / Numbering Code | | | |
| 授業科目名 / Subject | 初年次セミナー(経済) / First-year Seminar | | |
| 編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus | 穴倉 学 / Shishikura Manabu | | |
| 授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject | 穴倉 学 / Shishikura Manabu | | |
| 授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s) | 穴倉 学 / Shishikura Manabu | | |
| 科目分類 / Class type | 教養ゼミナール科目, 統合科目 | | |
| 対象年次 / Year | 1, 2, 3, 4 | 講義形態 / Class Form | 講義, 演習 / Lecture, Seminar |
| 教室 / Class room | 学部間い合わせのこと | | |
| 対象学生(クラス等) / Object Student | | | |
| 担当教員Eメールアドレス / E-mail address | | | |
| 担当教員研究室 / Laboratory | | | |
| 担当教員TEL / Tel | | | |
| 担当教員オフィスアワー / Office hours | | | |
| 授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives | 大学入学以前の教師主導型を主とする学習からの転換を図り, 大学における自主的な学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。そのため, 知的活動への動機づけを高め, 科学的な思考方法と学習・実験のデザイン能力, レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てることを具体的な目標とする。また, 大学での学習の入り口として, 学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り, グループ作りに役立てることも狙いとしている。 | | |
| 授業到達目標 / Goal | 知的活動への動機づけを高める。 科学的な思考方法と学習・実験のデザイン能力を身につける。 レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じて適切な自己表現能力を身につける。 学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り, ものの見方, 考え方の多様性を涵養する。 | | |
| 授業方法(学習指導法) / Method | ・1クラス10~12名程度の学生で構成し, 原則として1名の教員が前期を通じて担当する。 ・ディスカッション, 実地調査など体験的・双方向的学習形態を中心とする。実地調査の組み込み等具体的な実施方法は各クラス担当教員が決める。 | | |
| 授業内容 / Class outline / Con | ・週1コマ, 15週で2単位とする。 ・自主的に学習し, 課題を発見し, 解決するとはどのようなことかを, 討論など体験的・双方向的な学習形態を通して身につける。 ・各教員の指示に従い, 課題についてのグループディスカッション, 全体ディスカッション, グループによるテーマ研究, 成果のプレゼンテーション・質疑応答, レポート作成などに取り組む。 ・図書館資料収集ガイダンス, メディアステーションガイダンス, 情報セキュリティやICT利用に関する授業などが適宜組み込まれる。 | | |
| キーワード / Key word | | | |
| 教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book | 各クラス担当教員の指示による。 | | |
| 成績評価の方法・基準等 / Evaluation | 教養ゼミナールに対する取り組み方・ディスカッション(教養ゼミナールへの積極的な参加, 情報の収集状況・分析など), プレゼンテーション(わかりやすい資料, 話の構成, 説得力など), レポート(構成, 文章表現など)により総合的に評価する。詳細は各クラスの担当教員の指示による。 | | |
| 受講要件(履修条件) / Requirements | | | |
| アクセシビリティ / Accessibility | 長崎大学では, 全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため, 修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては, 担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp | | |
| 備考(URL) / Remarks(URL) | | | |
| 学生へのメッセージ / Message for students | | | |

| | | | |
|--|--|--|---------------------------|
| 学期 / Semester | 2016年度 / Academic Year 前期 / First Semester | 曜日・校時 / Day・Period | 金 / Fri 4 |
| 開講期間 / Class period | 2016/04/06 ~ 2016/07/26 | | |
| 必修選択 / Required/Elective class | 必修, 選択 / required, elective | 単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas) | 1.0/1.0/1.0 |
| 時間割コード / Time schedule code | 20160581003038 | 科目番号 / Subject code | 05810030 |
| 科目ナンバリングコード / Numbering Code | | | |
| 授業科目名 / Subject | 初年次セミナー(経済) / First-year Seminar | | |
| 編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus | 土橋 力也 / Rikiya Tsuchihashi | | |
| 授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject | 土橋 力也 / Rikiya Tsuchihashi | | |
| 授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s) | 土橋 力也 / Rikiya Tsuchihashi | | |
| 科目分類 / Class type | 教養ゼミナール科目, 統合科目 | | |
| 対象年次 / Year | 1, 2, 3, 4 | 講義形態 / Class Form | 講義, 演習 / Lecture, Seminar |
| 教室 / Class room | 学部間い合わせのこと | | |
| 対象学生(クラス等) / Object Student | | | |
| 担当教員Eメールアドレス / E-mail address | | | |
| 担当教員研究室 / Laboratory | | | |
| 担当教員TEL / Tel | | | |
| 担当教員オフィスアワー / Office hours | | | |
| 授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives | 大学入学以前の教師主導型を主とする学習からの転換を図り, 大学における自主的な学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。そのため, 知的活動への動機づけを高め, 科学的な思考方法と学習・実験のデザイン能力, レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てることを具体的な目標とする。また, 大学での学習の入り口として, 学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り, グループ作りに役立てることも狙いとしている。 | | |
| 授業到達目標 / Goal | 知的活動への動機づけを高める。 科学的な思考方法と学習・実験のデザイン能力を身につける。 レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じて適切な自己表現能力を身につける。 学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り, ものの見方, 考え方の多様性を涵養する。 | | |
| 授業方法(学習指導法) / Method | ・1クラス10~12名程度の学生で構成し, 原則として1名の教員が前期を通じて担当する。 ・ディスカッション, 実地調査など体験的・双方向的学習形態を中心とする。実地調査の組み込み等具体的な実施方法は各クラス担当教員が決める。 | | |
| 授業内容 / Class outline / Con | ・週1コマ, 15週で2単位とする。 ・自主的に学習し, 課題を発見し, 解決するとはどのようなことかを, 討論など体験的・双方向的な学習形態を通して身につける。 ・各教員の指示に従い, 課題についてのグループディスカッション, 全体ディスカッション, グループによるテーマ研究, 成果のプレゼンテーション・質疑応答, レポート作成などに取り組む。 ・図書館資料収集ガイダンス, メディアステーションガイダンス, 情報セキュリティやICT利用に関する授業などが適宜組み込まれる。 | | |
| キーワード / Key word | | | |
| 教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book | 各クラス担当教員の指示による。 | | |
| 成績評価の方法・基準等 / Evaluation | 教養ゼミナールに対する取り組み方・ディスカッション(教養ゼミナールへの積極的な参加, 情報の収集状況・分析など), プレゼンテーション(わかりやすい資料, 話の構成, 説得力など), レポート(構成, 文章表現など)により総合的に評価する。詳細は各クラスの担当教員の指示による。 | | |
| 受講要件(履修条件) / Requirements | | | |
| アクセシビリティ / Accessibility | 長崎大学では, 全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため, 修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては, 担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp | | |
| 備考(URL) / Remarks(URL) | | | |
| 学生へのメッセージ / Message for students | | | |

| | | | |
|--|--|--|---------------------------|
| 学期 / Semester | 2016年度 / Academic Year 前期 / First Semester | 曜日・校時 / Day・Period | 金 / Fri 4 |
| 開講期間 / Class period | 2016/04/06 ~ 2016/07/26 | | |
| 必修選択 / Required/Elective class | 必修, 選択 / required, elective | 単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas) | 1.0/1.0/1.0 |
| 時間割コード / Time schedule code | 20160581003039 | 科目番号 / Subject code | 05810030 |
| 科目ナンバリングコード / Numbering Code | | | |
| 授業科目名 / Subject | 初年次セミナー(経済) / First-year Seminar | | |
| 編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus | 津留崎 和義 / Turusaki Kazuyoshi | | |
| 授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject | 津留崎 和義 / Turusaki Kazuyoshi | | |
| 授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s) | 津留崎 和義 / Turusaki Kazuyoshi | | |
| 科目分類 / Class type | 教養ゼミナール科目, 統合科目 | | |
| 対象年次 / Year | 1, 2, 3, 4 | 講義形態 / Class Form | 講義, 演習 / Lecture, Seminar |
| 教室 / Class room | 学部間い合わせのこと | | |
| 対象学生(クラス等) / Object Student | | | |
| 担当教員Eメールアドレス / E-mail address | | | |
| 担当教員研究室 / Laboratory | | | |
| 担当教員TEL / Tel | | | |
| 担当教員オフィスアワー / Office hours | | | |
| 授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives | 大学入学以前の教師主導型を主とする学習からの転換を図り, 大学における自主的な学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。そのため, 知的活動への動機づけを高め, 科学的な思考方法と学習・実験のデザイン能力, レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てることを具体的な目標とする。また, 大学での学習の入り口として, 学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り, グループ作りに役立てることも狙いとしている。 | | |
| 授業到達目標 / Goal | 知的活動への動機づけを高める。 科学的な思考方法と学習・実験のデザイン能力を身につける。 レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じて適切な自己表現能力を身につける。 学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り, ものの見方, 考え方の多様性を涵養する。 | | |
| 授業方法(学習指導法) / Method | ・1クラス10~12名程度の学生で構成し, 原則として1名の教員が前期を通じて担当する。 ・ディスカッション, 実地調査など体験的・双方向的学習形態を中心とする。実地調査の組み込み等具体的な実施方法は各クラス担当教員が決める。 | | |
| 授業内容 / Class outline / Con | ・週1コマ, 15週で2単位とする。 ・自主的に学習し, 課題を発見し, 解決するとはどのようなことかを, 討論など体験的・双方向的な学習形態を通して身につける。 ・各教員の指示に従い, 課題についてのグループディスカッション, 全体ディスカッション, グループによるテーマ研究, 成果のプレゼンテーション・質疑応答, レポート作成などに取り組む。 ・図書館資料収集ガイダンス, メディアステーションガイダンス, 情報セキュリティやICT利用に関する授業などが適宜組み込まれる。 | | |
| キーワード / Key word | | | |
| 教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book | 各クラス担当教員の指示による。 | | |
| 成績評価の方法・基準等 / Evaluation | 教養ゼミナールに対する取り組み方・ディスカッション(教養ゼミナールへの積極的な参加, 情報の収集状況・分析など), プレゼンテーション(わかりやすい資料, 話の構成, 説得力など), レポート(構成, 文章表現など)により総合的に評価する。詳細は各クラスの担当教員の指示による。 | | |
| 受講要件(履修条件) / Requirements | | | |
| アクセシビリティ / Accessibility | 長崎大学では, 全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため, 修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては, 担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp | | |
| 備考(URL) / Remarks(URL) | | | |
| 学生へのメッセージ / Message for students | | | |

| | | | |
|--|--|--|---------------------------|
| 学期 / Semester | 2016年度 / Academic Year 前期 / First Semester | 曜日・校時 / Day・Period | 金 / Fri 4 |
| 開講期間 / Class period | 2016/04/06 ~ 2016/07/26 | | |
| 必修選択 / Required/Elective class | 必修, 選択 / required, elective | 単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas) | 1.0/1.0/1.0 |
| 時間割コード / Time schedule code | 20160581003040 | 科目番号 / Subject code | 05810030 |
| 科目ナンバリングコード / Numbering Code | | | |
| 授業科目名 / Subject | 初年次セミナー(経済) / First-year Seminar | | |
| 編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus | 仲井 幹也 / Nakai Mikiya | | |
| 授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject | 仲井 幹也 / Nakai Mikiya | | |
| 授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s) | 仲井 幹也 / Nakai Mikiya | | |
| 科目分類 / Class type | 教養ゼミナール科目, 統合科目 | | |
| 対象年次 / Year | 1, 2, 3, 4 | 講義形態 / Class Form | 講義, 演習 / Lecture, Seminar |
| 教室 / Class room | 学部間い合わせのこと | | |
| 対象学生(クラス等) / Object Student | | | |
| 担当教員Eメールアドレス / E-mail address | | | |
| 担当教員研究室 / Laboratory | | | |
| 担当教員TEL / Tel | | | |
| 担当教員オフィスアワー / Office hours | | | |
| 授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives | 大学入学以前の教師主導型を主とする学習からの転換を図り, 大学における自主的な学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。そのため, 知的活動への動機づけを高め, 科学的な思考方法と学習・実験のデザイン能力, レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てることを具体的な目標とする。また, 大学での学習の入り口として, 学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り, グループ作りに役立てることも狙いとしている。 | | |
| 授業到達目標 / Goal | 知的活動への動機づけを高める。 科学的な思考方法と学習・実験のデザイン能力を身につける。 レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じて適切な自己表現能力を身につける。 学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り, ものの見方, 考え方の多様性を涵養する。 | | |
| 授業方法(学習指導法) / Method | ・1クラス10~12名程度の学生で構成し, 原則として1名の教員が前期を通じて担当する。 ・ディスカッション, 実地調査など体験的・双方向的学習形態を中心とする。実地調査の組み込み等具体的な実施方法は各クラス担当教員が決める。 | | |
| 授業内容 / Class outline / Con | ・週1コマ, 15週で2単位とする。 ・自主的に学習し, 課題を発見し, 解決するとはどのようなことかを, 討論など体験的・双方向的な学習形態を通して身につける。 ・各教員の指示に従い, 課題についてのグループディスカッション, 全体ディスカッション, グループによるテーマ研究, 成果のプレゼンテーション・質疑応答, レポート作成などに取り組む。 ・図書館資料収集ガイダンス, メディアステーションガイダンス, 情報セキュリティやICT利用に関する授業などが適宜組み込まれる。 | | |
| キーワード / Key word | | | |
| 教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book | 各クラス担当教員の指示による。 | | |
| 成績評価の方法・基準等 / Evaluation | 教養ゼミナールに対する取り組み方・ディスカッション(教養ゼミナールへの積極的な参加, 情報の収集状況・分析など), プレゼンテーション(わかりやすい資料, 話の構成, 説得力など), レポート(構成, 文章表現など)により総合的に評価する。詳細は各クラスの担当教員の指示による。 | | |
| 受講要件(履修条件) / Requirements | | | |
| アクセシビリティ / Accessibility | 長崎大学では, 全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため, 修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては, 担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp | | |
| 備考(URL) / Remarks(URL) | | | |
| 学生へのメッセージ / Message for students | | | |

| | | | |
|--|--|--|---------------------------|
| 学期 / Semester | 2016年度 / Academic Year 前期 / First Semester | 曜日・校時 / Day・Period | 金 / Fri 4 |
| 開講期間 / Class period | 2016/04/06 ~ 2016/07/26 | | |
| 必修選択 / Required/Elective class | 必修, 選択 / required, elective | 単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas) | 1.0/1.0/1.0 |
| 時間割コード / Time schedule code | 20160581003041 | 科目番号 / Subject code | 05810030 |
| 科目ナンバリングコード / Numbering Code | | | |
| 授業科目名 / Subject | 初年次セミナー(経済) / First-year Seminar | | |
| 編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus | 中西 善信 / Yoshinobu Nakanishi | | |
| 授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject | 中西 善信 / Yoshinobu Nakanishi | | |
| 授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s) | 中西 善信 / Yoshinobu Nakanishi | | |
| 科目分類 / Class type | 教養ゼミナール科目, 統合科目 | | |
| 対象年次 / Year | 1, 2, 3, 4 | 講義形態 / Class Form | 講義, 演習 / Lecture, Seminar |
| 教室 / Class room | 学部間い合わせのこと | | |
| 対象学生(クラス等) / Object Student | | | |
| 担当教員Eメールアドレス / E-mail address | | | |
| 担当教員研究室 / Laboratory | | | |
| 担当教員TEL / Tel | | | |
| 担当教員オフィスアワー / Office hours | | | |
| 授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives | 大学入学以前の教師主導型を主とする学習からの転換を図り, 大学における自主的な学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。そのため, 知的活動への動機づけを高め, 科学的な思考方法と学習・実験のデザイン能力, レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てることを具体的な目標とする。また, 大学での学習の入り口として, 学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り, グループ作りに役立てることも狙いとしている。 | | |
| 授業到達目標 / Goal | 知的活動への動機づけを高める。 科学的な思考方法と学習・実験のデザイン能力を身につける。 レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じて適切な自己表現能力を身につける。 学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り, ものの見方, 考え方の多様性を涵養する。 | | |
| 授業方法(学習指導法) / Method | ・1クラス10~12名程度の学生で構成し, 原則として1名の教員が前期を通じて担当する。 ・ディスカッション, 実地調査など体験的・双方向的学習形態を中心とする。実地調査の組み込み等具体的な実施方法は各クラス担当教員が決める。 | | |
| 授業内容 / Class outline / Con | ・週1コマ, 15週で2単位とする。 ・自主的に学習し, 課題を発見し, 解決するとはどのようなことかを, 討論など体験的・双方向的な学習形態を通して身につける。 ・各教員の指示に従い, 課題についてのグループディスカッション, 全体ディスカッション, グループによるテーマ研究, 成果のプレゼンテーション・質疑応答, レポート作成などに取り組む。 ・図書館資料収集ガイダンス, メディアステーションガイダンス, 情報セキュリティやICT利用に関する授業などが適宜組み込まれる。 | | |
| キーワード / Key word | | | |
| 教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book | 各クラス担当教員の指示による。 | | |
| 成績評価の方法・基準等 / Evaluation | 教養ゼミナールに対する取り組み方・ディスカッション(教養ゼミナールへの積極的な参加, 情報の収集状況・分析など), プレゼンテーション(わかりやすい資料, 話の構成, 説得力など), レポート(構成, 文章表現など)により総合的に評価する。詳細は各クラスの担当教員の指示による。 | | |
| 受講要件(履修条件) / Requirements | | | |
| アクセシビリティ / Accessibility | 長崎大学では, 全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため, 修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては, 担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp | | |
| 備考 (URL) / Remarks (URL) | | | |
| 学生へのメッセージ / Message for students | | | |

| | | | |
|--|--|--|---------------------------|
| 学期 / Semester | 2016年度 / Academic Year 前期 / First Semester | 曜日・校時 / Day・Period | 金 / Fri 4 |
| 開講期間 / Class period | 2016/04/06 ~ 2016/07/26 | | |
| 必修選択 / Required/Elective class | 必修, 選択 / required, elective | 単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas) | 1.0/1.0/1.0 |
| 時間割コード / Time schedule code | 20160581003042 | 科目番号 / Subject code | 05810030 |
| 科目ナンバリングコード / Numbering Code | | | |
| 授業科目名 / Subject | 初年次セミナー(経済) / First-year Seminar | | |
| 編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus | 林川 万理水 / Hayashikawa Marina | | |
| 授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject | 林川 万理水 / Hayashikawa Marina | | |
| 授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s) | 林川 万理水 / Hayashikawa Marina | | |
| 科目分類 / Class type | 教養ゼミナール科目, 統合科目 | | |
| 対象年次 / Year | 1, 2, 3, 4 | 講義形態 / Class Form | 講義, 演習 / Lecture, Seminar |
| 教室 / Class room | 学部間い合わせのこと | | |
| 対象学生(クラス等) / Object Student | | | |
| 担当教員Eメールアドレス / E-mail address | | | |
| 担当教員研究室 / Laboratory | | | |
| 担当教員TEL / Tel | | | |
| 担当教員オフィスアワー / Office hours | | | |
| 授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives | 大学入学以前の教師主導型を主とする学習からの転換を図り, 大学における自主的な学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。そのため, 知的活動への動機づけを高め, 科学的な思考方法と学習・実験のデザイン能力, レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てることを具体的な目標とする。また, 大学での学習の入り口として, 学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り, グループ作りに役立てることも狙いとしている。 | | |
| 授業到達目標 / Goal | 知的活動への動機づけを高める。 科学的な思考方法と学習・実験のデザイン能力を身につける。 レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じて適切な自己表現能力を身につける。 学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り, ものの見方, 考え方の多様性を涵養する。 | | |
| 授業方法(学習指導法) / Method | ・1クラス10~12名程度の学生で構成し, 原則として1名の教員が前期を通じて担当する。 ・ディスカッション, 実地調査など体験的・双方向的学習形態を中心とする。実地調査の組み込み等具体的な実施方法は各クラス担当教員が決める。 | | |
| 授業内容 / Class outline / Con | ・週1コマ, 15週で2単位とする。 ・自主的に学習し, 課題を発見し, 解決するとはどのようなことかを, 討論など体験的・双方向的な学習形態を通して身につける。 ・各教員の指示に従い, 課題についてのグループディスカッション, 全体ディスカッション, グループによるテーマ研究, 成果のプレゼンテーション・質疑応答, レポート作成などに取り組む。 ・図書館資料収集ガイダンス, メディアステーションガイダンス, 情報セキュリティやICT利用に関する授業などが適宜組み込まれる。 | | |
| キーワード / Key word | | | |
| 教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book | 各クラス担当教員の指示による。 | | |
| 成績評価の方法・基準等 / Evaluation | 教養ゼミナールに対する取り組み方・ディスカッション(教養ゼミナールへの積極的な参加, 情報の収集状況・分析など), プレゼンテーション(わかりやすい資料, 話の構成, 説得力など), レポート(構成, 文章表現など)により総合的に評価する。詳細は各クラスの担当教員の指示による。 | | |
| 受講要件(履修条件) / Requirements | | | |
| アクセシビリティ / Accessibility | 長崎大学では, 全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため, 修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては, 担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp | | |
| 備考(URL) / Remarks(URL) | | | |
| 学生へのメッセージ / Message for students | | | |

| | | | |
|--|--|--|---------------------------|
| 学期 / Semester | 2016年度 / Academic Year 前期 / First Semester | 曜日・校時 / Day・Period | 金 / Fri 4 |
| 開講期間 / Class period | 2016/04/06 ~ 2016/07/26 | | |
| 必修選択 / Required/Elective class | 必修, 選択 / required, elective | 単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas) | 1.0/1.0/1.0 |
| 時間割コード / Time schedule code | 20160581003043 | 科目番号 / Subject code | 05810030 |
| 科目ナンバリングコード / Numbering Code | | | |
| 授業科目名 / Subject | 初年次セミナー(経済) / First-year Seminar | | |
| 編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus | 藤田 渉 / Fujita Wataru | | |
| 授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject | 藤田 渉 / Fujita Wataru | | |
| 授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s) | 藤田 渉 / Fujita Wataru | | |
| 科目分類 / Class type | 教養ゼミナール科目, 統合科目 | | |
| 対象年次 / Year | 1, 2, 3, 4 | 講義形態 / Class Form | 講義, 演習 / Lecture, Seminar |
| 教室 / Class room | 学部間い合わせのこと | | |
| 対象学生(クラス等) / Object Student | | | |
| 担当教員Eメールアドレス / E-mail address | | | |
| 担当教員研究室 / Laboratory | | | |
| 担当教員TEL / Tel | | | |
| 担当教員オフィスアワー / Office hours | | | |
| 授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives | 大学入学以前の教師主導型を主とする学習からの転換を図り, 大学における自主的な学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。そのため, 知的活動への動機づけを高め, 科学的な思考方法と学習・実験のデザイン能力, レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てることを具体的な目標とする。また, 大学での学習の入り口として, 学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り, グループ作りに役立てることも狙いとしている。 | | |
| 授業到達目標 / Goal | 知的活動への動機づけを高める。 科学的な思考方法と学習・実験のデザイン能力を身につける。 レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じて適切な自己表現能力を身につける。 学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り, ものの見方, 考え方の多様性を涵養する。 | | |
| 授業方法(学習指導法) / Method | ・1クラス10~12名程度の学生で構成し, 原則として1名の教員が前期を通じて担当する。 ・ディスカッション, 実地調査など体験的・双方向的学習形態を中心とする。実地調査の組み込み等具体的な実施方法は各クラス担当教員が決める。 | | |
| 授業内容 / Class outline / Con | ・週1コマ, 15週で2単位とする。 ・自主的に学習し, 課題を発見し, 解決するとはどのようなことかを, 討論など体験的・双方向的な学習形態を通して身につける。 ・各教員の指示に従い, 課題についてのグループディスカッション, 全体ディスカッション, グループによるテーマ研究, 成果のプレゼンテーション・質疑応答, レポート作成などに取り組む。 ・図書館資料収集ガイダンス, メディアステーションガイダンス, 情報セキュリティやICT利用に関する授業などが適宜組み込まれる。 | | |
| キーワード / Key word | | | |
| 教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book | 各クラス担当教員の指示による。 | | |
| 成績評価の方法・基準等 / Evaluation | 教養ゼミナールに対する取り組み方・ディスカッション(教養ゼミナールへの積極的な参加, 情報の収集状況・分析など), プレゼンテーション(わかりやすい資料, 話の構成, 説得力など), レポート(構成, 文章表現など)により総合的に評価する。詳細は各クラスの担当教員の指示による。 | | |
| 受講要件(履修条件) / Requirements | | | |
| アクセシビリティ / Accessibility | 長崎大学では, 全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため, 修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては, 担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp | | |
| 備考(URL) / Remarks(URL) | | | |
| 学生へのメッセージ / Message for students | | | |

| | | | |
|--|--|--|---------------------------|
| 学期 / Semester | 2016年度 / Academic Year 前期 / First Semester | 曜日・校時 / Day・Period | 金 / Fri 4 |
| 開講期間 / Class period | 2016/04/06 ~ 2016/07/26 | | |
| 必修選択 / Required/Elective class | 必修, 選択 / required, elective | 単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas) | 1.0/1.0/1.0 |
| 時間割コード / Time schedule code | 20160581003044 | 科目番号 / Subject code | 05810030 |
| 科目ナンバリングコード / Numbering Code | | | |
| 授業科目名 / Subject | 初年次セミナー(経済) / First-year Seminar | | |
| 編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus | 松本 睦樹 / Matumoto Mutuki | | |
| 授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject | 松本 睦樹 / Matumoto Mutuki | | |
| 授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s) | 松本 睦樹 / Matumoto Mutuki | | |
| 科目分類 / Class type | 教養ゼミナール科目, 統合科目 | | |
| 対象年次 / Year | 1, 2, 3, 4 | 講義形態 / Class Form | 講義, 演習 / Lecture, Seminar |
| 教室 / Class room | 学部間い合わせのこと | | |
| 対象学生(クラス等) / Object Student | | | |
| 担当教員Eメールアドレス / E-mail address | | | |
| 担当教員研究室 / Laboratory | | | |
| 担当教員TEL / Tel | | | |
| 担当教員オフィスアワー / Office hours | | | |
| 授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives | 大学入学以前の教師主導型を主とする学習からの転換を図り, 大学における自主的な学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。そのため, 知的活動への動機づけを高め, 科学的な思考方法と学習・実験のデザイン能力, レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てることを具体的な目標とする。また, 大学での学習の入り口として, 学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り, グループ作りに役立てることも狙いとしている。 | | |
| 授業到達目標 / Goal | 知的活動への動機づけを高める。 科学的な思考方法と学習・実験のデザイン能力を身につける。 レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じて適切な自己表現能力を身につける。 学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り, ものの見方, 考え方の多様性を涵養する。 | | |
| 授業方法(学習指導法) / Method | ・1クラス10~12名程度の学生で構成し, 原則として1名の教員が前期を通じて担当する。 ・ディスカッション, 実地調査など体験的・双方向的学習形態を中心とする。実地調査の組み込み等具体的な実施方法は各クラス担当教員が決める。 | | |
| 授業内容 / Class outline / Con | ・週1コマ, 15週で2単位とする。 ・自主的に学習し, 課題を発見し, 解決するとはどのようなことかを, 討論など体験的・双方向的な学習形態を通して身につける。 ・各教員の指示に従い, 課題についてのグループディスカッション, 全体ディスカッション, グループによるテーマ研究, 成果のプレゼンテーション・質疑応答, レポート作成などに取り組む。 ・図書館資料収集ガイダンス, メディアステーションガイダンス, 情報セキュリティやICT利用に関する授業などが適宜組み込まれる。 | | |
| キーワード / Key word | | | |
| 教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book | 各クラス担当教員の指示による。 | | |
| 成績評価の方法・基準等 / Evaluation | 教養ゼミナールに対する取り組み方・ディスカッション(教養ゼミナールへの積極的な参加, 情報の収集状況・分析など), プレゼンテーション(わかりやすい資料, 話の構成, 説得力など), レポート(構成, 文章表現など)により総合的に評価する。詳細は各クラスの担当教員の指示による。 | | |
| 受講要件(履修条件) / Requirements | | | |
| アクセシビリティ / Accessibility | 長崎大学では, 全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため, 修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては, 担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp | | |
| 備考(URL) / Remarks(URL) | | | |
| 学生へのメッセージ / Message for students | | | |

| | | | |
|--|--|--|---------------------------|
| 学期 / Semester | 2016年度 / Academic Year 前期 / First Semester | 曜日・校時 / Day・Period | 金 / Fri 4 |
| 開講期間 / Class period | 2016/04/06 ~ 2016/07/26 | | |
| 必修選択 / Required/Elective class | 必修, 選択 / required, elective | 単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas) | 1.0/1.0/1.0 |
| 時間割コード / Time schedule code | 20160581003045 | 科目番号 / Subject code | 05810030 |
| 科目ナンバリングコード / Numbering Code | | | |
| 授業科目名 / Subject | 初年次セミナー(経済) / First-year Seminar | | |
| 編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus | 森保 洋 / Moriyasu Hiroshi | | |
| 授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject | 森保 洋 / Moriyasu Hiroshi | | |
| 授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s) | 森保 洋 / Moriyasu Hiroshi | | |
| 科目分類 / Class type | 教養ゼミナール科目, 統合科目 | | |
| 対象年次 / Year | 1, 2, 3, 4 | 講義形態 / Class Form | 講義, 演習 / Lecture, Seminar |
| 教室 / Class room | 学部間い合わせのこと | | |
| 対象学生(クラス等) / Object Student | | | |
| 担当教員Eメールアドレス / E-mail address | | | |
| 担当教員研究室 / Laboratory | | | |
| 担当教員TEL / Tel | | | |
| 担当教員オフィスアワー / Office hours | | | |
| 授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives | 大学入学以前の教師主導型を主とする学習からの転換を図り, 大学における自主的な学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。そのため, 知的活動への動機づけを高め, 科学的な思考方法と学習・実験のデザイン能力, レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てることを具体的な目標とする。また, 大学での学習の入り口として, 学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り, グループ作りに役立てることも狙いとしている。 | | |
| 授業到達目標 / Goal | 知的活動への動機づけを高める。 科学的な思考方法と学習・実験のデザイン能力を身につける。 レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じて適切な自己表現能力を身につける。 学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り, ものの見方, 考え方の多様性を涵養する。 | | |
| 授業方法(学習指導法) / Method | ・1クラス10~12名程度の学生で構成し, 原則として1名の教員が前期を通じて担当する。 ・ディスカッション, 実地調査など体験的・双方向的学習形態を中心とする。実地調査の組み込み等具体的な実施方法は各クラス担当教員が決める。 | | |
| 授業内容 / Class outline / Con | ・週1コマ, 15週で2単位とする。 ・自主的に学習し, 課題を発見し, 解決するとはどのようなことかを, 討論など体験的・双方向的な学習形態を通して身につける。 ・各教員の指示に従い, 課題についてのグループディスカッション, 全体ディスカッション, グループによるテーマ研究, 成果のプレゼンテーション・質疑応答, レポート作成などに取り組む。 ・図書館資料収集ガイダンス, メディアステーションガイダンス, 情報セキュリティやICT利用に関する授業などが適宜組み込まれる。 | | |
| キーワード / Key word | | | |
| 教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book | 各クラス担当教員の指示による。 | | |
| 成績評価の方法・基準等 / Evaluation | 教養ゼミナールに対する取り組み方・ディスカッション(教養ゼミナールへの積極的な参加, 情報の収集状況・分析など), プレゼンテーション(わかりやすい資料, 話の構成, 説得力など), レポート(構成, 文章表現など)により総合的に評価する。詳細は各クラスの担当教員の指示による。 | | |
| 受講要件(履修条件) / Requirements | | | |
| アクセシビリティ / Accessibility | 長崎大学では, 全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため, 修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては, 担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp | | |
| 備考(URL) / Remarks(URL) | | | |
| 学生へのメッセージ / Message for students | | | |

| | | | |
|--|--|--|---------------------------|
| 学期 / Semester | 2016年度 / Academic Year 前期 / First Semester | 曜日・校時 / Day・Period | 金 / Fri 4 |
| 開講期間 / Class period | 2016/04/06 ~ 2016/07/26 | | |
| 必修選択 / Required/Elective class | 必修, 選択 / required, elective | 単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas) | 1.0/1.0/1.0 |
| 時間割コード / Time schedule code | 20160581003046 | 科目番号 / Subject code | 05810030 |
| 科目ナンバリングコード / Numbering Code | | | |
| 授業科目名 / Subject | 初年次セミナー(経済) / First-year Seminar | | |
| 編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus | 山口 純哉 / Yamaguchi Junya | | |
| 授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject | 山口 純哉 / Yamaguchi Junya | | |
| 授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s) | 山口 純哉 / Yamaguchi Junya | | |
| 科目分類 / Class type | 教養ゼミナール科目, 統合科目 | | |
| 対象年次 / Year | 1, 2, 3, 4 | 講義形態 / Class Form | 講義, 演習 / Lecture, Seminar |
| 教室 / Class room | 学部間い合わせのこと | | |
| 対象学生(クラス等) / Object Student | | | |
| 担当教員Eメールアドレス / E-mail address | | | |
| 担当教員研究室 / Laboratory | | | |
| 担当教員TEL / Tel | | | |
| 担当教員オフィスアワー / Office hours | | | |
| 授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives | 大学入学以前の教師主導型を主とする学習からの転換を図り, 大学における自主的な学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。そのため, 知的活動への動機づけを高め, 科学的な思考方法と学習・実験のデザイン能力, レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てることを具体的な目標とする。また, 大学での学習の入り口として, 学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り, グループ作りに役立てることも狙いとしている。 | | |
| 授業到達目標 / Goal | 知的活動への動機づけを高める。 科学的な思考方法と学習・実験のデザイン能力を身につける。 レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じて適切な自己表現能力を身につける。 学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り, ものの見方, 考え方の多様性を涵養する。 | | |
| 授業方法(学習指導法) / Method | ・1クラス10~12名程度の学生で構成し, 原則として1名の教員が前期を通じて担当する。 ・ディスカッション, 実地調査など体験的・双方向的学習形態を中心とする。実地調査の組み込み等具体的な実施方法は各クラス担当教員が決める。 | | |
| 授業内容 / Class outline / Con | ・週1コマ, 15週で2単位とする。 ・自主的に学習し, 課題を発見し, 解決するとはどのようなことかを, 討論など体験的・双方向的な学習形態を通して身につける。 ・各教員の指示に従い, 課題についてのグループディスカッション, 全体ディスカッション, グループによるテーマ研究, 成果のプレゼンテーション・質疑応答, レポート作成などに取り組む。 ・図書館資料収集ガイダンス, メディアステーションガイダンス, 情報セキュリティやICT利用に関する授業などが適宜組み込まれる。 | | |
| キーワード / Key word | | | |
| 教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book | 各クラス担当教員の指示による。 | | |
| 成績評価の方法・基準等 / Evaluation | 教養ゼミナールに対する取り組み方・ディスカッション(教養ゼミナールへの積極的な参加, 情報の収集状況・分析など), プレゼンテーション(わかりやすい資料, 話の構成, 説得力など), レポート(構成, 文章表現など)により総合的に評価する。詳細は各クラスの担当教員の指示による。 | | |
| 受講要件(履修条件) / Requirements | | | |
| アクセシビリティ / Accessibility | 長崎大学では, 全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため, 修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては, 担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp | | |
| 備考(URL) / Remarks(URL) | | | |
| 学生へのメッセージ / Message for students | | | |

| | | | |
|--|--|--|---------------------------|
| 学期 / Semester | 2016年度 / Academic Year 前期 / First Semester | 曜日・校時 / Day・Period | 金 / Fri 4 |
| 開講期間 / Class period | 2016/04/06 ~ 2016/07/26 | | |
| 必修選択 / Required/Elective class | 必修, 選択 / required, elective | 単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas) | 1.0/1.0/1.0 |
| 時間割コード / Time schedule code | 20160581003047 | 科目番号 / Subject code | 05810030 |
| 科目ナンバリングコード / Numbering Code | | | |
| 授業科目名 / Subject | 初年次セミナー(経済) / First-year Seminar | | |
| 編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus | 山田 和郎 / Kazuo Yamada | | |
| 授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject | 山田 和郎 / Kazuo Yamada | | |
| 授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s) | 山田 和郎 / Kazuo Yamada | | |
| 科目分類 / Class type | 教養ゼミナール科目, 統合科目 | | |
| 対象年次 / Year | 1, 2, 3, 4 | 講義形態 / Class Form | 講義, 演習 / Lecture, Seminar |
| 教室 / Class room | 学部間い合わせのこと | | |
| 対象学生(クラス等) / Object Student | | | |
| 担当教員Eメールアドレス / E-mail address | k-yamada@nagasaki-u.ac.jp | | |
| 担当教員研究室 / Laboratory | | | |
| 担当教員TEL / Tel | | | |
| 担当教員オフィスアワー / Office hours | | | |
| 授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives | 大学入学以前の教師主導型を主とする学習からの転換を図り, 大学における自主的な学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。そのため, 知的活動への動機づけを高め, 科学的な思考方法と学習・実験のデザイン能力, レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てることを具体的な目標とする。また, 大学での学習の入り口として, 学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り, グループ作りに役立てることも狙いとしている。 | | |
| 授業到達目標 / Goal | 知的活動への動機づけを高める。 科学的な思考方法と学習・実験のデザイン能力を身につける。 レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じて適切な自己表現能力を身につける。 学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り, ものの見方, 考え方の多様性を涵養する。 | | |
| 授業方法(学習指導法) / Method | ・1クラス10~12名程度の学生で構成し, 原則として1名の教員が前期を通じて担当する。 ・ディスカッション, 実地調査など体験的・双方向的学習形態を中心とする。実地調査の組み込み等具体的な実施方法は各クラス担当教員が決める。 | | |
| 授業内容 / Class outline / Con | ・週1コマ, 15週で2単位とする。 ・自主的に学習し, 課題を発見し, 解決するとはどのようなことかを, 討論など体験的・双方向的な学習形態を通して身につける。 ・各教員の指示に従い, 課題についてのグループディスカッション, 全体ディスカッション, グループによるテーマ研究, 成果のプレゼンテーション・質疑応答, レポート作成などに取り組む。 ・図書館資料収集ガイダンス, メディアステーションガイダンス, 情報セキュリティやICT利用に関する授業などが適宜組み込まれる。 | | |
| キーワード / Key word | | | |
| 教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book | 各クラス担当教員の指示による。 | | |
| 成績評価の方法・基準等 / Evaluation | 教養ゼミナールに対する取り組み方・ディスカッション(教養ゼミナールへの積極的な参加, 情報の収集状況・分析など), プレゼンテーション(わかりやすい資料, 話の構成, 説得力など), レポート(構成, 文章表現など)により総合的に評価する。詳細は各クラスの担当教員の指示による。 | | |
| 受講要件(履修条件) / Requirements | | | |
| アクセシビリティ / Accessibility | 長崎大学では, 全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため, 修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては, 担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp | | |
| 備考(URL) / Remarks(URL) | | | |
| 学生へのメッセージ / Message for students | | | |